

# よりよい学校づくりに向けて 学校評価アンケート結果

今年度もあと一月となりました。日頃より本校の教育活動について多大なるご理解とご協力を頂きますことに感謝申し上げます。

今回は、皆様にご協力頂きました学校評価アンケートの結果をお知らせしたいと思います。頂きましたご意見については、真摯に受け止め、今後の学校教育活動に生かしていきます。

【表の見方】 各質問項目について、生徒・教師・保護者の三者からアンケートを取っております。  
4(ほぼ当てはまる) 3(少し当てはまる) 2(少し当てはまらない) 1(ほぼ当てはまらない)  
で回答していただきました。

4及び3の回答を肯定的な回答としてとらえ、その数字を以下の表に記載しております。

	内 容	教師	生徒	保護者
学校教育目標	1 生徒が、自分自身を認めながら充実した学校生活を送ること	96%	90%	86%
	2 生徒が、自分にできることを行い、学校生活や家庭生活で他の人の役に立とうとすること	100%	88%	89%
	3 生徒が、学校行事や授業など何事にも進んで取り組むこと(主体性)	98%	85%	81%
	4 生徒が、お互いに認め合い、励まし合い、高め合うこと(協働性)	100%	92%	91%
	5 生徒が、「凡事徹底」「自己への挑戦」「他への貢献」に繋がる学校生活を送ること(西南中合い言葉)	98%	90%	81%
	6 生徒が、自他を大切にし、人権を尊重しようとしてできること	98%	94%	99%
	7 生徒が挨拶や決まりを守って生活しようとしていること	100%	95%	90%
	8 生徒がいじめや差別を許さない行動を行う事ができていること	100%	94%	98%
学校生活全般	9 生徒が主体となった学力を伸ばすための授業に取り組むこと	92%	91%	82%
	10 生徒が中学生らしい服装や身なりをしていること	92%	97%	98%
	11 生徒が、安全な登下校や学校生活ができること	92%	97%	97%
	12 生徒が、家庭や地域で挨拶ができること	78%	94%	93%
	13 生徒に、家庭学習の習慣が身についていること	70%	79%	63%
	14 生徒が、将来の夢について話ができること	94%	64%	75%
	15 生徒に「自分で朝起きる、朝食を食べる、自分で勉強する」を意識した指導を行うこと	90%	—	—
マニフェスト	16 生徒が、朝自分で起きること	90%	79%	60%
	17 生徒が、朝食を食べること	90%	94%	91%
	18 生徒が、言われなくても自分で学習を始められること	90%	79%	64%
	19 生徒に「返事をする、手伝いをする、家庭で話をする」を意識した指導を行うこと	92%	—	—
中身	20 生徒が、しっかりとした返事をできること	92%	93%	83%
	21 生徒が、家の手伝いを行うこと	92%	89%	74%
	22 生徒が、家庭で学校や友達について話すこと	92%	89%	86%
	23 学校が、保護者への連絡や情報提供を行い、信頼関係づくりを行うこと	86%	—	94%
その他	24 生徒が、夜10時以降のスマートフォンの使用を控えること	—	61%	73%
	25 それぞれが、生徒会活動や PTA 活動に積極的に参加すること	66%	87%	51%
	26 生徒が、この学校に通えて良かったと感じられていること	96%	92%	90%

## 自由記述内容より

- 教師の熱心な指導や学校の柔軟な対応を評価する意見が寄せられた。
- 学校が時代の変化に適応し、生徒一人ひとりに寄り添っている姿勢が評価されている。
- 保護者の中にも、スマートフォンの使用に関しては危機意識があり、生徒・保護者・教師で PTA 申し合わせ事項をはじめとしたルールや約束の確認が必要である。
- 生徒の成長段階に応じた指導や、教師間の指導の統一性の確保が求められている。
- いじめや安全面の課題については学校で引き続き迅速に対応していく必要がある。
- 生徒・保護者の信頼に足りうる、言葉や行動の配慮が求められる。

## 「その笑い、大丈夫？」— SNS 時代の言葉と行動を考える

先日の全校集会では、生徒指導担当の松浦先生から、クラスの雰囲気づくりや SNS の使い方についてお話がありました。特に、「笑い」と「人を傷つける行為」の境界について深く考えさせられる内容でした。

テレビなどでは、誰かの失敗を「イじる」ことで笑いを取る場面が多くあります。しかし、それが学校で行われると、誰かを傷つけたり、不快にさせたりすることがあります。「明るさ」と勘違いして続けてしまうと、雰囲気が悪化し、生徒が安心して過ごせる環境を損なうことにもつながります。

さらに、SNS ではこうした動画や投稿を目にする機会が多く、気づかないうちに「当たり前」と思う危険性があります。さらに、匿名性があるため、自分の発言や投稿が相手をどれほど傷つけるかを実感しにくい面もあります。生徒たちは、この話を真剣に受け止めていました。

合志市では、PTA 協議会の申し合わせで「夜10時から朝6時まではスマートフォンを親が預かる」取り組みを行っています。ご家庭でも、SNS との向き合い方について話し合ってみてください。

学校HPにはQRコードをクリックでアクセス！



『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』  
『「凡事徹底」そして「自己への挑戦」・「他への貢献」』

西合志南中学校  
学校通信  
令和7年2月27日  
第 10 号  
発行責任者  
大山 寛  
井上 竹久

## アンケート結果より

○生徒、保護者、教師ともに肯定的な回答の項目が多く、学校教育活動全体に対しては概ね理解を頂いている状況である。

●教師・生徒、保護者間で学校教育目標や学校の指導への受け止め方について差があり、それを埋めていくための取組が必要である。

